

第12回ジャパンデフバレーボールカップ大阪大会

<大会実施要項・注意事項>

1. 競技規則

- ・平成22年度（財）日本バレーボール協会6人制競技規則による。
- ・使用球は、（財）日本バレーボール協会検定5号球カラーボールを使用する。
- ・ネットの高さは、男子（2m43cm）、女子（2m24cm）とする。

2. チームの編成

- ① 1チームの人数は、監督、コーチ、マネジャー各1名、選手12名、計15名以内とする。
- ② 選手12名の内、リベロ・プレーヤーは2名まで登録できる。
- ③ 監督、コーチ又はマネジャーが選手を兼ねる場合は、選手登録名簿に登録しておくこと。

3. 競技方法

- ① 競技は、グループに分けて予選リーグを行い、予選リーグの上位チームによる決勝トーナメント戦及び、予選リーグ階チームによる交流試合を行う。
- ② 全試合3セットマッチとする。

■予選リーグの順位決定方法について

各チーム2試合ずつ対戦し、以下の採点法を用いて順位を決定する。

- ・勝ち「2点」
- ・負け「1点」
- ・棄権又は没収「0点」

この方法によって、2つあるいはそれ以上のチームが同点となった場合は、下記の方法によって順位を決定する。

- ① セット率（取得したセットの総数を、喪失したセットの総数で除したもの）が高いほど高順位とする。

$$\text{セット率} = \frac{\text{全試合の取得したセットの総数}}{\text{全試合の喪失したセットの総数}}$$

- ② 項の計算によってもなお同順位を生じた場合

ポイント率（全試合の総得点数を全試合の総失点数で除したもの）が高いほど高順位とする。

$$\text{ポイント率} = \frac{\text{全試合の総得点数}}{\text{全試合の総失点数}}$$

- ③ 二項の計算を行ってもなお同順位がある場合、次の方法による。

- ・相互試合がある場合は、その試合の勝チームが上位となる。
- ・相互試合がない場合は、大会本部にて競技委員長立会いの下、じゃんけんにて順位を決定する。

（男子）上位2チーム、（女子）上位2チーム → 決勝トーナメント

（男子）下位3～5チーム、（女子）下位3～5チーム → 交流試合

■試合ルールについて

◇予選リーグ、決勝トーナメント1回戦、2回戦、準決勝戦

3セットマッチ、1・2セット目は**21点制**、3セット目は**15点制**、**2セット先取**
※但し、21点（3セット目の場合は15点）先取した方が勝ちとする。

◇決勝戦、3位決定戦

3セットマッチ、**25点制**、**2セット先取**
※ジュースの場合、2点差決着制

◇交流試合

1セットマッチ、25点制（25点先取した方が勝ちとする）

*本大会の組合せは、平成22年12月18日（土）大会実行委員会において、審判委員長
の立会いの下、公正に抽選を執り行いました。

4. 表彰

決勝戦終了後、閉会式において行う。

◆注意事項◆

- ①試合開始は、特に時間の指定のあるものを除き、追い込み方式で行う。なお、同チームの試合が連続する場合は10分間の休憩の後プロトコールに入る。
- ②オーダー用紙は、キャプテンがトスするときに提出する。
- ③公式練習からはエントリーされた者だけが競技場に入場できる。
- ④負傷の原因となるピン、指輪、腕輪、かぶりもの、その他金属装身具等を身につけて競技してはならないが、自分の責任において眼鏡を使用することができる。
- ⑤参加選手は事前に健康診断を受けて来ること。競技中選手が負傷した場合、応急処置を行うが、それ以後一切責任は負いません。
- ⑥主将は、ジャージ色と異なった色の幅2cm、長さ8cmのマークをユニホームの胸部の番号の下に明確に付けること。
- ⑦監督・コーチ・マネージャーは、それぞれ“監”、“C”、“M”のワッペンを左胸部に付けること。マークの大きさは直径6cm程度で各チームが負担すること。

以上